

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題			
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）		
I-1- (2)-⑤ 子どもの特性を伸ばす教育の充実	1	④ ⑰	博物館セカンドスクール事業	自然史・歴史博物館普及課	市民文化スポーツ局自然史・歴史博物館普及課	博物館を第二の学校と位置づけ、修学旅行・社会見学など学校教育の一環として、子どもたちの博物館利用の促進を図る。	学校団体誘致数	1,116団体 (H24年度)	目標 1,000 団体	実績 707 団体	達成率 70.7 %	1,000 団体	903 団体	1,000団体以上 (毎年度)	1,186	1,143	1,351	16,075	順調	新型コロナウイルス感染症が5類に移行したことや入館等の制限がなくなったことにより、学校団体数・学校関係入館者数ともに令和4年度と比べ、増加したことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 博物館について、学校団体誘致数・学校関係入館者数は目標に達しなかったが、いずれも令和4年度実績数を大きく上回った。 文学館についても、入館者数は目標に達しなかったが、様々な企画展を開催できていることから、「順調」と判断。 【課題】 博物館は、コロナ禍以前の水準に戻せるよう、誘致活動、イベント参加等の広報活動を充実させる必要がある。 また、文学館については、魅力ある企画展の開催や研究事業の効果的な企画実施など、市民へ彩りある時を提供する。
						学校関係入館者数	78,290人 (H24年度)	目標 70,000 人	実績 41,022 人	達成率 58.6 %	70,000 人 以上 (毎年度)	70,000 人	54,265 人	77.5 %								
	2	④ ⑰	文学館普及研究費	文学館	市民文化スポーツ局文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数	10,741人 (H23年度)	目標 30,000 人	実績 31,137 人	達成率 103.8 %	30,000 人 (毎年度)	19,578 人	65.3 %	20,575	17,921	17,613	30,950	順調	入館者数は令和4年度を下回ったものの、ゆかりの文学者や著名な絵本作家、世界文化遺産など、多彩な企画展を実施できたため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 常設展やプラネタリウムを中心に約40万人の来館者数を確保した一方、未来の人材育成に資するクラブ活動、講座等参加者は63,702人で目標の50,000人を上回る成果を上げており「順調」と判断。 【課題】 平日の集客増のため団体客のさらなる利用促進を図る。また、魅力的な企画展の開催、イベントの充実、SNS等による効果的な広報などに取り組む。
					年間来館者数	—	目標 500,000 人	実績 510,063 人	達成率 102.0 %	年間来館者数 50万人 (毎年度)	398,883 人	79.8 %										
I-2- (2)-① 成長産業を支える高度人材の育成	3	④ ⑨	北九州市科学館スペースLABO運営経費	科学館普及課	子ども家庭局科学館	科学・技術への興味・関心を高める科学館とするため、様々な来館者増に向けた取組を行うもの。取組の一環として、教職員や子ども達へ講座やクラブ活動等を行い、技術系人材の育成を図る。	年間来館者数	—	目標 500,000 人	実績 510,063 人	達成率 102.0 %	年間来館者数 50万人 (毎年度)	398,883 人	79.8 %	483,056	551,120	472,889	128,000	順調	科学館（スペースLABO）の常設展示室・プラネタリウム・各種事業等の運営を通じて、教育普及及びにぎわいづくりにおける一定の役割を果たしたため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 常設展やプラネタリウムを中心に約40万人の来館者数を確保した一方、未来の人材育成に資するクラブ活動、講座等参加者は63,702人で目標の50,000人を上回る成果を上げており「順調」と判断。 【課題】 平日の集客増のため団体客のさらなる利用促進を図る。また、魅力的な企画展の開催、イベントの充実、SNS等による効果的な広報などに取り組む。

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
Ⅲ-2-(1)-② 地域における 伝統文化の発 掘・継承	4	①	文化財保存補 助	文化企画 課	市民文 化ス ポー ツ局 文化 企画 課	伝統文化の継承者や保存団体の活動を育成・支援し、市内の伝統文化を発掘し、次世代に継承していく。	指定無形民俗文化財保存支援団体数	16団体 (H26年 度)	目標 17 団 体	実績 14 団 体	17 団 体	15 団 体	17団体 (毎年 度)	910	1,127	1,020	11,050	順調	保存団体への周知と適切な協議を行った。 各団体とも令和6年度への実施意欲は高く、文化財の保存伝承の成果はあったと考えられるため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 補助制度について文化財保存団体への周知と適切な協議を進めることができ、文化財保存伝承活動が継続していることから「順調」と判断。 【課題】 保存団体の高齢化も含め、活動の収縮や経費の上昇問題を抱える保存団体に対して、継続的な支援が必要である。
Ⅲ-2-(2)-① 発信力の高い 文化芸術の振 興	5	④ ①	芸術文化活 性化事業	文化企画 課	市民文 化ス ポー ツ局 文化 企画 課	【劇場・自主事業】 エンターテインメントから芸術性の高い作品まで舞台芸術全般を網羅し、幅広い年代層をターゲットに公演を行う。また、北九州芸術劇場オリジナルの演劇作品等を制作し、公演を実施。 【響ホール・自主事業】 室内楽専用ホールの特性を生かした質の高いコンサートや響ホールを拠点として地元演奏家を積極的に育てるコンサートを行う。また、響ホールからの発信を意識した、オリジナリティのある演奏会を実施。	北九州芸術劇場・自主事業入場率	95% (H21年 度)	目標 87 %	実績 87 %	87 %	78 %	87% (R5年 度)	87,595	104,668	101,543	3,550	順調	北九州芸術劇場において、入場率は目標値に届かなかったものの、劇場オリジナル作品や話題性のある良質な作品等の幅広い年代層を対象とした公演を提供した。 響ホール事業においては、国内外で活躍する著名な演奏家による公演や子どもも楽しめるコンサート等、幅広いラインナップを揃え、目標値を上回る入場率となった。 以上、本市の文化振興に寄与していることから「順調」と判断。	【評価理由】 北九州芸術劇場、響ホールは自主事業の実施により文化芸術を発信し、本市の文化振興に寄与した。 北九州国際音楽祭は、高い満足度を維持している。 映像製作誘致強化関連事業は、高い認知度を維持し続けていること、また、都市ブランドとして「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合について目標を大きく上回った。 松永文庫は、来館者の目標を達成できなかったが、令和4年度実績を大きく上回った。 以上のことから、「順調」と判断。 【課題】 北九州芸術劇場、響ホールでは、引き続き高い入場率につながる魅力的な自主事業を実施していくとともに、にぎわいづくりにつなげていくことが重要と考える。 映像製作誘致強化関連事業は、今後の旅行需要のさらなる回復に向け、いかに知名度のある海外作品の誘致を行い、本市の魅力を海外に発信し、インバウンドを獲得していくかが課題である。	
響ホール事業・響ホール自主事業入場率	56% (H21年 度)	目標 65 %	実績 76 %	65 %	82 %	65% (R5年 度)															
		目標	達成率																		
		実績	達成率																		

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善										
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題		
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）	
6	④ ①		北九州国際音楽祭	文化企画課	市民文化スポーツ局文化企画課	地域の音楽文化の向上を図ることを目的に、クラシックコンサートを中心とした音楽祭に助成を行うもの。本音楽祭は、市制25周年を記念して始まり、令和5年度で36回を数え、本市の秋を彩る催し物として定着している。	北九州市国際音楽祭の満足度	83% (H21年度)	目標	85	%	85	%	85% (毎年度)	34,550	40,000	20,055	1,625	順調	海外オーケストラや国際ショパンピアノコンクール優勝者等、国内外の一流の演奏家を招いたほか、北九州市出身のアーティストによるコンサートを行うなど、多くの方に音楽の魅力をお届けすることができた。 加えて、満足度も高い水準を維持し、本市の文化振興に大きく寄与していることから、「順調」と判断。	松永文庫は、新しいターゲット層へのアプローチを強化し、来館者数の目標を達成できるよう取組を継続する必要がある。
									実績	99	%	100	%								
									達成率	116.5	%	117.6	%								
7	⑧ ①		映像製作誘致強化関連事業	MICE・エンターテインメント課	市民文化スポーツ局文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000 千円 (H21年度)	目標	150,000	千円	150,000	千円	150,000 千円 (R1年度以降毎年度)	25,242	14,300	11,984	32,100	順調	多くの映画・ドラマ・CM等の作品の誘致・支援を成功させるとともにオール北九州ロケ映画の完成披露上映会、タイBL映画の撮影誘致、舞台挨拶など、複数の関連イベント等を実施した。 経済波及効果は目標を達成できなかったものの、令和4年度を大きく上回った。 また、『都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合』は、目標を大きく上回った。 以上のことから、「順調」と判断。	
									実績	46,561	千円	67,617	千円								
									達成率	31.0	%	45.1	%								
							都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合	—	目標	17	%	17	%	17.0% (R3年度以降毎年度)							
									実績	29.1	%	29.8	%								
									達成率	171.2	%	175.3	%								
8	⑧ ①		松永文庫企画事業	MICE・エンターテインメント課	市民文化スポーツ局文化企画課	松永文庫が多数所蔵している貴重な映画資料等を活用し、企画展やイベントを実施し「映画の街・北九州」の魅力発信を行う。	年間来館者数	89,317 人 (H26年度)	目標	10	万人	10	万人	10万人 (毎年度)	6,864	8,625	7,371	4,900	順調	来館者の増加を目指し、企画展を目標（4回）以上開催するなどして集客を図った結果、令和4年度よりも年間来館者数が増加したため「順調」と判断。	
									実績	2	万人	6	万人								
									達成率	20.0	%	60.0	%								

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
Ⅲ-2-(2)-② 市民の文化芸術活動の促進	9	④ ⑪	芸術文化育成 負担金・補助 金	文化企画課	市民文化 スポーツ局 文化企画課	本市の文化水準の向上及び地域文化の振興を推進することを目的として、積極的に文化活動を展開している文化団体等の事業に対して、助成を行う。	各種文化事業の実施	16事業 (H23年度)	目標 実績 達成率	16 事業 16 事業 100.0 %	16 事業 16 事業 100.0 %	16事業 (毎年度)	39,986	39,350	39,277	5,825	順調	助成団体数は令和4年度と同数であり、事業にかかる経費の一部を市が補助することで、民間団体による様々な文化事業が実施された。この助成制度によって、地域・市民レベルにおける文化活動を支える一定の効果があったことから「順調」と判断。	順調	【評価理由】 文化団体や市民の活動に対して助成し、市民の文化芸術活動の促進に寄与したことから、「順調」と判断。 【課題】 助成の内容や効果を検証しながら、市民が文化に触れることができる事業の実施を推進していく必要がある。
	10	④ ⑪	文化芸術活動 に対する支援	文化企画課	市民文化 スポーツ局 文化企画課	北九州市の文化水準の向上と地域文化の振興に資することを目的として、市民の行う芸術・文化活動等に対し助成を行う。	北九州市文化振興基金奨励事業の補助件数 ※指標廃止 (R5年度目標設定時)	27件 (H21年度)	目標 実績 達成率	25 件 103 件 412.0 %	30 件 36 件 120.0 %	25件 (毎年度)	45,433	27,892	20,000	3,825	大変 順調	令和4年度から開始した「文化芸術活動活性化支援事業」について、令和5年度は助成の仕組みを見直し、「一般枠」「ステップアップ枠」を設けて公募を実施した。市民の自主的な文化芸術活動を効果的かつ効率的に支援するとともに、補助件数も目標値を上回ったことから「大変順調」と判断。		
Ⅲ-2-(2)-③ 市民が文化芸術に接する機会の拡大	11	④	美術館企画展 充実事業	美術館普及課	市民文化 スポーツ局 美術館普及課	美術館本館及び分館において、多彩で魅力ある企画展を開催し、本市の美術・文化の振興を積極的に推進する。	美術館の入館者数	245,420 人 (H26年度)	目標 実績 達成率	240,000 人 187,097 人 78.0 %	240,000 人 117,524 人 49.0 %	240,000 人 (R5年度)	111,926	118,088	107,800	36,750	やや 遅れ	より多くの方々にご来場いただけるようスイス プチ・パレ美術館展を開催するなどして集客を図ったが、年間入館者数が目標に満たなかったため「やや遅れ」と判断。	順調	【評価理由】 美術館は入館者数・観覧者数の目標を達成することができなかったが、展覧会の開催回数は目標を大きく上回った。博物館については企画展・特別展の入館者数は目標を上回り、総入館者数も令和4年度と比べ、増加していることから、「順調」と判断。 【課題】 今後もより魅力ある展示、企画展・特別展を開催するとともに、国内外の観光客等の誘致に向け効果的な広報PRを行う必要がある。
						コレクション展の観覧者数	11,713 人 (H26年度)	目標 実績 達成率	30,000 人 28,986 人 96.6 %	30,000 人 11,885 人 39.6 %	30,000 人 (R5年度)									

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）					
	12	④	博物館企画 展・特別展充 実事業	自然史・ 歴史博 物館普 及課	市民文 化スポ ーツ局 自然史 ・歴史 博物館 普及課	企画展・特別展 は、特定のテーマ を設けて自然史や 歴史に関する展示 を行うことによっ て、市民が楽しく 学べる場を提供 し、本市の学術文 化の発展を図るも の。	博物館総入館者 数 ※中期目標改訂 (R5年度目標設 定時)	369,711 人 (H24年 度)	目標 450,000 人 実績 402,819 人 達成率 89.5 %	500,000 人 (R5年 度) 431,278 人 86.3 %	59,074	55,570	54,412	74,600	順調	令和5年3月と12月に常設展 をリニューアルし、さらに魅 力ある博物館としてPRした。 その結果、総入館者数も増加 し、目標の80%を超えたこと から「順調」と判断。			
Ⅲ-2- (2)-④ 文化芸 術の担 い手の 育成	13	④	美術鑑賞事業 「ミュージア ム・ツアー」	美術 館普 及課	市民文 化スポ ーツ局 美術普 及課	市内の小学3年生 を対象に、美術作 品の鑑賞体験型 のプログラムを作 成し、子どもたち に体験してもら うことでシビック プライドの醸成を はかる。	参加校の割合	14% (H29年 度)	目標 100 % 実績 99.2 % 達成率 99.2 %	100 % 100.0 % 100.0 %	16,142	29,214	26,859	25,650	順調	令和5年度に予定していた学 校のミュージアム・ツアーは 全て開催することが出来たた め、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 いずれの実績も令和4年度を 上回っており、次世代の文化 芸術の担い手となる子どもた ちに対し、優れた文化・芸術 に触れる機会を提供すること ができたため「順調」と判 断。 【課題】 文化・芸術の担い手を育成 していくためには、引き続き 市民が様々な文化・芸術に触 れる機会を確保していくこと が必要である。 文学賞についても効果的な 広報を吟味し、応募者数の確 保に努める必要がある。	
	14	④ ⑪	優れた文化・ 芸術との“出 会い”創造事 業	文化 企画 課	市民文 化スポ ーツ局 文化企 画課	将来の文化・芸 術の担い手を育成 し、本市の文化振 興をさらに進め るとともに、シビ ックプライドの醸 成につなげていく ため、若者や子ど もたちを中心に優 れた文化・芸術と の“出会い”の場 ・機会を創造して いく。	教育普及事業へ の参加者数の増 加	2,500人 (H27年 度)	目標 2,100 人 実績 2,695 人 達成率 128.3 %	2,100人 (毎年 度) 2,971 人 141.5 %	6,610	6,757	6,701	8,725	大変 順調	放課後児童クラブを対象と したコンサート事業では、コ ロナ禍以降4年ぶりに、プロの 音楽家が市内放課後児童クラ ブへ訪問し、クラシックを中 心とした演奏を行った。 参加者数も目標値を大幅に 上回り、子どもたちが一流の 音楽に触れることのできる機 会を創ったことから「大変順 調」と判断。			
	15	④	子どもノン フィクション 文学賞	文学 館	市民文 化スポ ーツ局 文学館	全国の小中学生 を対象に創設した 文学賞。子ども たちが体験した出 来事や取材したこ とを「ノンフィク ション」として書 くことで、人々や 社会への関心をも つ契機となり、思 考能力や人間とし ての成長を促す。	応募総数	570件 (H27年 度)	目標 1,000 件 実績 460 件 達成率 46.0 %	1,000件 (毎年 度) 465 件 46.5 %	8,681	9,310	9,055	5,400	やや 遅れ	当文学賞は全国各地から応 募があり、受賞作品は全国的 にも評価が高く、広く周知さ れている。しかしながら応募 総数は目標を下回ったため、 「やや遅れ」と判断。			

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）			
	16	④	林芙美子文学賞	文学館	市民文化スポーツ局文学館	「放浪記」、 「浮雲」などの作品で知られ、特に短編の名手として評価の高い林芙美子の名を冠する文学賞。 多くの文学者、作家を輩出した北九州市の豊かな文学的土壌を全国に発信するとともに、これから文壇デビューを目指す新たな文学の才能を発掘する。	「林芙美子文学賞」作品応募数	484件 (H29年度)	目標 500 件	実績 407 件	達成率 81.4 %	500件 (毎年度)	500 件	9,759	10,403	9,627	4,550	順調	応募数は目標に至らなかったが、令和4年度を上回る応募があり、作品として書き続けていく力量を持った書き手に絞り込まれ、選考委員から一定の評価をいただいていることから、「順調」と判断。				
Ⅲ-2-(2)-⑤ 文化芸術によるまちづくり	17	④	北九州市漫画ミュージアム普及事業	漫画ミュージアム事務局	市民文化スポーツ局漫画ミュージアム事務局	北九州市漫画ミュージアムにおいて、常設展示の充実・企画展・イベント等の開催を通じて漫画文化の普及を目指す。	漫画ミュージアム年間入場者数	83,161人 (H27年度)	目標 100,000 人	実績 71,325 人	達成率 71.3 %	10万人 (毎年度)	100,000 人	95,252 人	95.3 %	51,092	56,019	53,490	54,000	順調	年間入場者数は開館以降の実績の中でも高い数値を達成しており、ワークショップ開催回数（62回）についても、外国人を含む団体旅行者や視察が増加したことにより、目標（48回）を上回っているため「順調」と判断。	順調	【評価理由】 漫画ミュージアムの年間入場者数は開館以降の実績の中でも高い数値を達成しており、ワークショップ開催回数（62回）についても、外国人を含む団体旅行者や視察が増加したことにより、目標値（48回）を上回っている。 映像製作誘致強化関連事業は、高い認知度を維持し続けていること、また、都市ブランドとして「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合について目標を大きく上回った。
									目標 150,000 千円	実績 46,561 千円	達成率 31.0 %	150,000 千円 (R1年度以降毎年度)	150,000 千円	67,617 千円	45.1 %	25,242	14,300	11,984	32,100	順調	多くの映画・ドラマ・CM等の作品の誘致・支援を成功させるとともにオール北九州ロケ映画の完成披露上映会、タイBL映画の撮影誘致、舞台挨拶など、複数の関連イベント等を実施した。 経済波及効果は目標を達成できなかったものの、令和4年度を大きく上回った。 また、『都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合』は、目標を大きく上回った。 以上のことから、「順調」と判断。	【課題】 幅広い年齢層及びジャンルへ向けた事業展開を図っていくことで、文化芸術事業における新しい価値の提供、本市	
	18	⑧ ⑩	映像製作誘致強化関連事業	MICE・エンターテインメント課	市民文化スポーツ局文化企画課	映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。 また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標 150,000 千円	実績 46,561 千円	達成率 31.0 %	150,000 千円 (R1年度以降毎年度)	150,000 千円	67,617 千円	45.1 %	25,242	14,300	11,984	32,100	順調	多くの映画・ドラマ・CM等の作品の誘致・支援を成功させるとともにオール北九州ロケ映画の完成披露上映会、タイBL映画の撮影誘致、舞台挨拶など、複数の関連イベント等を実施した。 経済波及効果は目標を達成できなかったものの、令和4年度を大きく上回った。 また、『都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合』は、目標を大きく上回った。 以上のことから、「順調」と判断。		
目標 17 %									実績 29.1 %	達成率 171.2 %	17.0% (R3年度以降毎年度)	17 %	29.8 %	175.3 %									

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善					
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
19	④ ⑪		北九州文学サロン管理運営事業	文化企画課	市民文化スポーツ局文化企画課	女性俳句の草分けである杉田久女・橋本多佳子などのPR・顕彰に取り組むとともに、「北九州文学サロン」を拠点として、点在する文学的素材やさまざまな文化資源・文化的取組みをつなげる仕組みづくりを行う。	「北九州文学サロン」の来館者数	H28年度 開設	目標	14,000 人	14,000 人	14,000 人 (毎年度)	10,067	10,437	11,589	6,400	順調	文学や北九州市にゆかりある作家に関連するイベントを計画・実施し、来館者に文学の魅力を発信することができた。本市の文化振興に寄与していることから、「順調」と判断。	ブランドの認知度の向上を行っていくことが求められる。さらにはインバウンド等の獲得へ向けて、国内外への情報発信を積極的に行っていくことが課題。 北九州文学サロン事業や日中詩人会議事業は終了したが、文芸分野においては、文学館や松本清張記念館等の文化施設を中心に、文学や北九州市にゆかりのある作家を活かした事業を展開し、「文学の街・北九州」の魅力を発信をさらに強化することが必要である。
20	⑧ ⑪		松永文庫企画事業	MICE・エンターテインメント課	市民文化スポーツ局文化企画課	松永文庫が多数所蔵している貴重な映画資料等を活用し、企画展やイベントを実施し「映画の街・北九州」の魅力発信を行う。	年間来館者数	89,317 人 (H26年度)	目標	10 万人	10 万人	10万人 (毎年度)	6,864	8,625	7,371	4,900	順調	来館者の増加を目指し、企画展を目標（4回）以上開催するなどして集客を図った結果、令和4年度よりも年間来館者数が増加したため「順調」と判断。	東田地区については、引き続き文化施設等の連携事業に取り組み、来訪者増を図る。 松本清張記念館についてはより魅力のある企画展等の開催を企画するなど、特に若年層の来館を促す仕組みが必要である。
21	④		松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	市民文化スポーツ局松本清張記念館事務局	松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。 さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。	松本清張記念館の入館者数	58,187 人 (H22年度)	目標	前年度 (11,973 人) 比増	前年度比増	前年度 比増 (毎年度)	9,927	11,528	11,236	23,250	順調	令和5年度の入館者数は29,136人で令和4年度を上回っている。また、企画展入場者の満足度も88.6%と目標（90%）に対する達成率が98%を超えているため、「順調」と判断。	

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
22	④ ⑧ ⑪		北九州市東田 地区ミュージアムパーク創 造事業	文化 企画 課	市民 文化 ス ポー ツ局 文化 企画 課	いのちのたび博 物館を中核に、文 化施設や商業施設 等が連携し、東田 地区を中心に地域 の活性化や観光客 の誘客に向けた取 組を実施する。	東田地区の来訪 者数（観光客 数）	目標	90	万人	150	万人	200万人 (R6年 度)	6,000	6,000	6,000	9,800	遅れ		
								実績	158.6	万人	集計中									
								達成率	176.2	%	—									
							東田地区の外国 人来訪者数（観 光客数）	目標	7,000	人	8,750	人	10,500 人 (R6年 度)							
実績	500	人	3,302	人																
達成率	7.1	%	37.7	%																
23	④ ⑪		日中詩人会議 2023北九州事 業	文化 企画 課	市民 文化 ス ポー ツ局 文化 企画 課	東アジア文化都 市北九州のレガ シーとして、ま た、「文学の街・ 北九州」のプレゼ ンス強化と発信、 並びに、国を跨い だ交流が再スター トする「ポストコ ロナ」における新 たな言葉の探求な どを目的に、北九 州市をフィールド に、日本と中国の 詩人による対話、 出版、並びに、朗 読会やトークイベ ントなどの市民交 流事業を行う。	日中詩人会議の 参加者	目標	200	人	200	人	200人 (毎年 度)	4,650	2,000	0	11,050	遅れ		
								実績	106	人	0	人								
								達成率	53.0	%	0.0	%								
—																				

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題				
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）			
Ⅲ-2- (3)-① 誰もが 気軽に スポーツに 親しめる 環境づくり	24	③ ④	北九州市民スポーツ大会	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	「市民皆スポーツ」をモットーに、スポーツ・レクリエーションの普及振興を図り、市民の健康で明るい市民生活に寄与するため、市内全域で各種大会や行事を開催。	市民スポーツ大会選手参加者数	30,367人 (H26年度)	目標 21,000人	実績 23,535人	達成率 112.1%	21,000人 (R1年度以降毎年度)	21,000人	21,000人	3,574	3,354	3,354	4,650	大変順調	多くの市民が参加できる大会の実施を目指すため、市HPなどを活用した積極的な広報に努めた。主催者の事情により中止になった大会があるものの、大会競技数は回復傾向にあり、参加者数は目標を大きく上回ったため、「大変順調」と判断。			
	25	③ ④	生涯スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	生涯スポーツの普及・振興のため、各区においてスポーツ教室、ニュースポーツ体験会などを開催。	各区におけるニュースポーツ及びファミリースポーツ大会の参加人数	12,371人 (H26年度)	目標 15,000人	実績 1,867人	達成率 12.4%	15,000人 (R1年度以降毎年度)	15,000人	15,000人	14,961	15,845	1,491	4,400	遅れ	令和4年度と比較して開催行事数・参加者数ともに回復傾向にあるものの、目標未達のため、「遅れ」と判断。	【評価理由】 設定した成果指標の目標を達成していない個別事業があるものの、参加者数等で大幅に目標値を上回る事業もあり、全体として「誰もが気軽にスポーツに親しめる環境づくり」が進んでいるため、「順調」と判断。		
	26	③ ④	総合型地域スポーツクラブ育成・支援事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	地域住民の自主的な運営により、身近な地域で様々なスポーツに親しむことのできる総合型地域スポーツクラブの育成・支援に取り組む。	総合型地域スポーツクラブの会員数	1,800人 (H22年度)	目標 4,000人	実績 1,718人	達成率 43.0%	4,000人 (R5年度)	4,000人	4,000人	2,600	2,496	2,496	2,900	遅れ	交流行事や勉強会等の開催数は令和4年度と同じ回数を維持したが、会員数は減少し目標を下回ったため、「遅れ」と判断。	【課題】 新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行して以降、さらにスポーツ大会等の開催が平常に戻り、より多くの市民が参加できるよう市HP等を活用した積極的な広報に努める必要がある。 また、地域住民が自主的にスポーツの場や機会を創り、地域でのスポーツ環境を充実させるため、総合型地域スポーツクラブの会員数を増加させる取組の強化が必要である。	順調	
	27	③ ④ ⑪	夢・スポーツ振興事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	トップアスリート等の活用により、オリンピック選手など国際、全国大会で活躍する、次世代を担うトップアスリートを育成するとともに、スポーツに対する意欲を醸成する。	選手強化事業参加者数	210人 (H26年度)	目標 1,000人	実績 2,181人	達成率 218.1%	1,000人 (毎年度)	1,000人	1,000人	8,832	9,000	8,944	7,900	大変順調	開催種目は令和4年度と比較し増加した。また、選手強化事業参加人数は目標を大きく上回ったため、「大変順調」と判断。			
						教室・強化講習会等の実施	5種目 (H26年度)	目標 11種目	実績 8種目	達成率 72.7%	11種目 (毎年度)	11種目以上 (毎年度)											

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善																				
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題												
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）											
Ⅲ-2- (3)-② スポーツを通じたにぎわいづくり	28	③ ④ ⑧ ⑩	北九州マラソン開催事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室	<p>・コース：北九州 市役所前～東田地区～戸畑駅前～東港～門司港～北九州国際会議場前 ・種目及び参加人数 マラソン：11,000名、ペアリレーマラソン：150組300名、ウィメンズ20.4：50人、ファンラン（3km又は5km）：800名</p>	マラソン大会開催による経済波及効果	目標	11.5 億円	単年度目標設定なし		11.5億円 (R8年度までに)	88,304	88,040	87,893	39,500	遅れ	<p>新型コロナウイルス感染症明けの大会として第11回大会を開催し、ランナーのおもてなし等をコロナ禍前の大会水準に戻せたこともあり、「マラソン大会全国評価ランキング」では8位を獲得できた。一方でボランティアリーダー登録者数は令和4年度と同数を維持したものの、「スポーツボランティアリーダー養成講座の実施」は最小催行人数に満たず、養成講座自体実施できなかったため、「遅れ」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】 ギラヴァンツ北九州の入場者数や、スポーツ観戦率等が目標に届かなかったものの、国際・全国大会等の開催数は大幅に改善し、目標値を大きく上回った。また、サッカーU-23日本代表戦など大規模国際大会の開催などにより、北九州スタジアムの利用実績においても目標を達成していることから、「順調」と判断。</p> <p>【課題】 コロナ禍が終了し、今後さらに国際・全国大会等の開催数の増加が見込まれることから、円滑な運営ができるよう適切な支援を行う必要がある。 今後も北九州スタジアムをはじめとする各スポーツ施設を活用した「見る」スポーツの更なる振興を図ることで、市民のスポーツ観戦率の向上に取り組んでいく必要がある。</p>											
								実績	9.76 億円	—											1位 (毎年度)	目標	1 位	1 位	100人 (R9年度)	実績	23 位	8 位	達成率	4.3 %	12.5 %
								達成率	84.9 %	—												目標	50 人	60 人		実績	36 人	36 人	達成率	72.0 %	60.0 %
29	③ ④ ⑩	国際大会・全国大会等スポーツ開催	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	<p>市内での国際大会等の開催により、「みる」スポーツの機会の拡大を図り、多くの市民のスポーツへの関心の向上及び個々の競技力の向上等につなげる。</p>	国際・全国大会等の開催数	目標	30 回	30 回	30回 (毎年度)	2,800	3,500	3,334	3,650	順調	<p>門司港レトロマラソンでは、最少催行人員（2,000人）を満たさなかったため、実行委員会において、「中止」の判断をした。一方で、国際・全国大会等の開催数は増加し、目標値を大きく上回ったため、「順調」と判断。</p>	順調														
							実績	43 回	45 回										目標	3,000 人	3,000 人	定員 3,000人 (毎年度)	実績	1,608 人	0 人	達成率	53.6 %	0.0 %			
							達成率	143.3 %	150.0 %										目標	3,000 人	3,000 人		実績	1,608 人	0 人	達成率	53.6 %	0.0 %			

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
30	③ ④ ⑪	③	ギラヴァンツ 北九州支援事 業	ス ポ ー ツ 振 興 課	市民 文 化 ス ポ ー ツ 局 ス ポ ー ツ 振 興 課	本市のシンボル チームである「ギ ラヴァンツ北九 州」を支援するた め、ホームゲーム 開催経費や遠征費 の一部を補助。	ギラヴァンツ北 九州の市民認知 度	目標	90 %	90 %	90% (毎年 度)	40,000	35,000	35,000	3,075	やや 遅れ	ギラヴァンツ北九州主催試 合の入場者数は、J3リーグ18 チーム中、4位の入場者となっ ており、令和4年度に比べて 200人強増加しているもの の、目標の7,000人に届かな かったため、「やや遅れ」と 判断。			
								実績	87% (H26年 度)	94.7 %										調査なし
								達成率		105.2 %										—
							ギラヴァンツ北 九州主催試合の 平均入場者数	目標	7,000 人	7,000 人	7,000人 (毎年 度)									
								実績	3,622人 (H26年 度)	3,613 人										3,857 人
								達成率		51.6 %										55.1 %
31	③ ④ ⑪	③	ホームタウン 推進事業	ス ポ ー ツ 振 興 課	市民 文 化 ス ポ ー ツ 局 ス ポ ー ツ 振 興 課	本市をホームタ ウン・準ホームタ ウンとする、「ギ ラヴァンツ北九 州」や「堺ブレ イザーズ」「福岡 ソフトバンクホー クス」等の市民観 戦事業や、体験教室 の開催など、市民 がスポーツに親し むきっかけ作りを 実施。	スポーツ観戦率	目標	40 %	40 %	40% (毎年 度)	63,729	68,000	50,986	6,575	やや 遅れ	市民がスポーツを見る機会 の増加を推進する招待事業等 に積極的に取り組んだもの の、親子招待事業等による観 戦者数や、スポーツ観戦率が 目標に届かなかったことか ら、「やや遅れ」と判断。			
								実績	23% (H26年 度)	19.9 %										22.9 %
								達成率		49.8 %										57.3 %

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要事業 所管課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）						
32	③ ④ ⑪		大規模国際スポーツ大会等誘致関係事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局国際スポーツ大会推進室	<p>官民一体となった「誘致委員会」による積極的な活動や誘致プロモーションを展開し、大規模国際スポーツ大会の試合会場を本市に誘致するとともに、誘致前後のスポーツ交流や文化交流等の実施により、生涯スポーツの振興やまちの賑わい創りに寄与する。</p>	東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会、2021世界体操・新体操選手権北九州大会のレガシー構築における各国との交流回数	—	目標	5 回		5回 (R4年度)								
							※指標廃止 (R5年度目標設定時)	—	実績	6 回										120.0 %
							—	達成率												
国際スポーツ大会等の開催	4件 (H27年度)	—	目標	3 件	3 件	3件 (毎年度)	14,970	54,920	54,642	54,000	大変 順調	<p>誘致プロモーションや官民一体となった誘致委員会による積極的な活動により、サッカー女子日本代表のなでしこジャパン国際親善試合、九州初開催となる「ツール・ド・九州」、サッカーU-23日本代表国際親善試合など国内外から注目を集める国際スポーツ大会を開催することができた。また、世界水泳選手権事前キャンプ地として、ギリシャやスウェーデンなど9か国のチームを受け入れ、水泳教室に通っている子どもたちと交流を行ったことから「大変順調」と判断。</p>								
—	実績	4 件	3 件	133.3 %	100.0 %															
—	達成率																			
各国との交流回数	—	—	目標		1 回	1ヶ国又は1競技団体以上 (毎年度)														
※指標追加 (R5年度目標設定時)	—	実績		2 回	200.0 %															
—	達成率																			

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善								
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）					
	33	⑤ ⑦ ⑧ ⑩ ⑪	北九州スタジアム維持管理事業	スポーツ振興課	市民文化スポーツ局スポーツ振興課	北九州スタジアムは、都心部に人が集い、にぎわいあふれる北九州市の創出を目指し、Jリーグやラグビートップリーグなどの試合、小中高生のサッカー・ラグビー大会、グラウンド・ゴルフ大会、子どもたちへの芝生開放などに加え、まちのにぎわいを生み出すイベントの開催など、市民に夢と感動を提供できる施設である。 施設の適切な維持管理・運営を実施することで、「みる」スポーツの機会提供の充実を図り、スポーツを通したまちのにぎわいを生み出す。	「みる」スポーツの機会提供の充実 （グラウンドの年間利用日数）	—	目標 100 日	100 日	100日 （毎年度）	104,251	104,251	104,251	2,750	順調	サッカー女子日本代表、U-23日本代表の国際親善試合や、Jリーグでのスポーツ利用に加え、わっしょい百万夏まつり、アニソン芸術花火大会など、様々な形での利用があり、まちのにぎわい創出に寄与した。また、「年間100日利用」を達成しているため、「順調」と判断。		
IV-4-(1)-② 偉人・先人の顕彰	34	④	文学館普及研究費	文学館	市民文化スポーツ局文学館	北九州市ゆかりの文学者の業績を企画展等で紹介するとともに、本市の文芸の振興に功績のあった文学者を市内外に発信する。	入館者数	10,741人(H23年度)	目標 30,000 人	30,000 人	30,000人 （毎年度）	20,575	17,921	17,613	30,950	順調	入館者数は令和4年度を下回ったものの、ゆかりの文学者や著名な絵本作家、世界文化遺産など、多彩な企画展を実施できたため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 文学館の入館者数は目標に達しなかったが、様々な企画展を開催できている。 松本清張記念館についても、入館者数は令和4年度を上回り、入場者の満足度においても 88.6%と目標（90%）に対する達成率が98%を超えているため、「順調」と判断。 【課題】 より魅力のある企画展の開催や研究事業の効果的な企画実施、若年層の来館を促す仕組み作りなど、市民へ彩りある時を提供する必要がある。

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施														【Check】 評価 / 【Action】 改善						
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		決算額 （千円）	予算額 （千円）						決算額 （千円）
	35	④	松本清張記念館研究センター・普及事業	松本清張記念館事務局	市民文化スポーツ局松本清張記念館事務局	<p>松本清張に関するあらゆる資料を収集・整理し、松本清張の「人と作品」を研究する調査研究・資料収集事業の実施や研究誌を発行する。また、松本清張研究者に奨励金を贈呈する研究奨励事業を実施する。</p> <p>さらに、企画展の開催や講演会、読書感想文コンクールなどの市民文芸活動支援事業を行う。</p>	松本清張記念館の入館者数	58,187人 (H22年度)	目標 前年度 (11,973人) 比増	実績 27,396人	29,136人	前年度比増 (毎年度)	9,927	11,528	11,236	23,250	順調	令和5年度の入館者数は29,136人で令和4年度を上回っている。また、企画展入場者の満足度においても88.6%と目標（90%）に対する達成率が98%を超えているため、「順調」と判断。		
IV-4-(2)-③ 都市イメージの向上	36	⑧ ⑪	映像製作誘致強化関連事業	MICE・エンターテインメント課	市民文化スポーツ局文化企画課	<p>映画・テレビドラマ等のロケ地誘致や撮影支援を積極的に行い、本市の知名度と都市イメージの向上を図る。</p> <p>また、活動成果の市民との共有や、「映画の街・北九州」という都市ブランドの発信により、街のにぎわいの創出や市民交流等のまちづくりにつなげる。</p>	地域経済への貢献（直接経済効果）	100,000千円 (H21年度)	目標 150,000千円	実績 46,561千円	67,617千円	150,000千円 (R1年度以降毎年度)	25,242	14,300	11,984	32,100	順調	<p>多くの映画・ドラマ・CM等の作品の誘致・支援を成功させるとともにオール北九州ロケ映画の完成披露上映会、タイBL映画の撮影誘致、舞台挨拶など、複数の関連イベント等を実施した。</p> <p>経済波及効果は目標を達成できなかったものの、令和4年度を大きく上回った。</p> <p>経路波及効果は目標を達成できなかったものの、令和4年度を大きく上回った。</p> <p>また、『都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合』は、目標を大きく上回った。</p> <p>以上のことから、「順調」と判断。</p>	順調	<p>【評価理由】</p> <p>映像製作誘致強化関連事業は、高い認知度を維持し続けており、『都市ブランドとして「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合』に関しても目標を大きく上回ったことから「順調」と判断。</p> <p>【課題】</p> <p>映像製作誘致強化関連事業は、引き続き市民・ロケ地に配慮しながら撮影支援を行う必要がある。また、さらなるインパウンドの増加に向けて、知名度のある海外作品の誘致を行い、本市の魅力を海外に発信していくことが重要である。</p>
						都市ブランド「映画の街・北九州」を広めたいと思う市民の割合	—	目標 17%	実績 29.1%	17%	17.0% (R3年度以降毎年度)									
									達成率 171.2%		175.3%									

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度		R5年度		中期 目標	予算額 （千円）						決算額 （千円）
IV-4-(3)-① 国内外からの 観光の 推進	37	⑧ ⑨	国際会議等 MICE事業の推 進	MICE ・エ ン ター テイン メント 課	産業 経済 局 MICE 推進 課	キーパーソン等 へ本市の優位性 （アクセス・施 設・助成金）など をPRするなどの誘 致活動を展開する ことにより、本市 での国際会議・大 会等のMICE開催を 目指す。	MICE開催件数	183件 (H20年 度)	目標 300 件	実績 205 件	300件 (R5年 度)	129,524	156,320	140,130	12,400	順調	令和5年度の国際会議・大会等の誘致件数（259件）は、目標（250件）を達成したうえ、令和4年度の件数（256件）を上回った。 MICE開催件数に関しては、目標は達成できなかったものの、令和4年度の件数を大きく上回ったことから「順調」と判断。		【評価理由】 MICE開催件数は、積極的な誘致活動の成果もあり、徐々に回復している。 観光振興推進事業についても、令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた工場見学が再開するなど、観光客数や宿泊者数、観光消費額のいずれも令和4年度を上回ることが見込まれ、令和7年の中期目標の数字に近づいている。	
	38	⑧ ⑪	観光振興推進 事業	観光 課	産業 経済 局 観光 課	エージェン等 へのセールスや観 光プロモーション の実施、本市の特 性を活かした「産 業観光」「夜景観 光」の推進、観光 案内所等でのおも てなしの向上等により、観光振興を 図る。	観光客数	1,105.3 万人 (R3年)	目標 2,460 万人	実績 1,785.4 万人	単年度目標 設定なし 集計中	3,000万 人 (R7年)	83,545	91,108	87,119	9,150	順調	令和5年度は工場見学が再開するなど、観光客数や宿泊者数、観光消費額のいずれも令和4年度を上回る見込みであり、令和7年の中期目標の数字に近づいているため、「順調」と判断。	さらに、外国人観光客数も令和4年度を上回るプロモーション活動を行い回復傾向にある。 以上のことから、「順調」と判断。	
	観光客数のうち 宿泊者数	124.6 万人 (R3年)	目標 130 万人	実績 172.7 万人	単年度目標 設定なし 集計中	240万人 (R7年)	83,545	91,108	87,119	9,150	順調									令和5年度は工場見学が再開するなど、観光客数や宿泊者数、観光消費額のいずれも令和4年度を上回る見込みであり、令和7年の中期目標の数字に近づいているため、「順調」と判断。
観光消費額	399億円 (R3年)	目標 976 億円	実績 827.3 億円	単年度目標 設定なし 集計中	1,700億 円 (R7年)	83,545														
外国人観光客数	69.1万 人 (H30年 次)	目標 70 万人	実績 3.6 万人	単年度目標 設定なし 集計中	70万人 (R7年 度)		8,548	42,000	40,576	17,400	やや 遅れ	令和4年度に比べ外国人観光客数は増加したと見込まれるものの、目標水準を下回るため「やや遅れ」と判断。		また、観光客が多く訪れる観光案内所による案内を更に強化することで、市内周遊を促進させ観光客数、宿泊者数、観光消費額の増加につなげていく必要がある。 外国人観光客のさらなる誘致に向け、ターゲットに合わせたプロモーションの強化が必要である。						

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度	R5年度		人件費 (目安) 金額 (千円)	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 (基準値)	R4年度		R5年度		中期 目標	決算額 (千円)						予算額 (千円)
IV-4-(3)-② にぎわいづくりによる集客交流産業の拡充	40	⑧ ⑪	日本新三大夜景都市ブランドを活用した夜型観光促進事業	観光課	産業 経済 局 観光課	夜型都市としての本市のブランドを活かした旅行会社向けプロモーションや観光客向けイベント等を実施することで、本市の夜型観光を促進し、更なる誘客を図る。	夜景観賞クルーズ・ツアー等の夜景観光客数	7,000人 (H27年度)	目標	13,000 人	13,000 人	13,000人 (R5年度)	16,234	10,000	9,272	14,150	順調	工場夜景クルーズの参加者数(5,297人)は特別企画等の実施により、平成30年度の過去最高(5,659人)に迫る勢いであった。また、「北九州プレミアム夜景フェス」等の実施により、夜景観光客数は令和4年度より4,000人近く増え、目標にかなり近づいたことから、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 工場夜景クルーズの参加者数(5,297人)は特別企画等の実施により、平成30年度の過去最高(5,659人)に迫る勢いであった。また、「北九州プレミアム夜景フェス」等の実施により、夜景観光客数は令和4年度より4,000人近く増え、目標にかなり近づいたことから、「順調」と判断。 【課題】 夜景観賞クルーズ・ツアーは民間事業者による実施のため、本市としてはPRの面で支援し、利用者増につなげていく必要がある。
									実績	4,658 人	8,483 人									
									達成率	35.8 %	65.3 %									
IV-4-(3)-③ ホスピタリティの向上	41	⑧ ⑪	観光振興推進事業	観光課	産業 経済 局 観光課	エージェン特等へのセールスや観光プロモーションの実施、本市の特性を活かした「産業観光」「夜景観光」の推進、観光案内所等でのおもてなしの向上等により、観光振興を図る。	観光客数	1,105.3万人 (R3年)	目標	2,460 万人	単年度目標設定なし	3,000万人 (R7年)	83,545	91,108	87,119	9,150	順調	令和5年度は工場見学が再開するなど、観光客数や宿泊者数、観光消費額のいずれも令和4年度を上回る見込みであり、令和7年の中期目標の数字に近づいているため、「順調」と判断。	順調	【評価理由】 令和5年度は新型コロナウイルス感染症の影響で中止していた工場見学が再開するなど、観光客数や宿泊者数、観光消費額のいずれも令和4年度を上回る見込みである。令和7年の中期目標の数字に近づいているため「順調」と判断。 【課題】 観光客が多く訪れる観光案内所による案内を更に強化することで、市内周遊を促進させ観光客数、宿泊者数、観光消費額の増加につなげていく必要がある。
									実績	1,785.4 万人	集計中									
									達成率	72.6 %	—									
							観光客数のうち宿泊者数	124.6万人 (R3年)	目標	130 万人	単年度目標設定なし	240万人 (R7年)								
									実績	172.7 万人	集計中									
									達成率	132.8 %	—									
							観光消費額	399億円 (R3年)	目標	976 億円	単年度目標設定なし	1,700億円 (R7年)								
									実績	827.3 億円	集計中									
									達成率	84.8 %	—									

令和5年度 行政評価の取組結果（都市ブランド創造局）

【Plan】 計画 / 【Do】 実施											【Check】 評価 / 【Action】 改善									
施策番号・施策名	No.	SDGs ゴール 番号	基本計画の施策 を構成する 主な事業・取組	主要 事業 所管 課名	旧所管 課名	事業・取組概要	事業評価の成果指標（目標・実績）					R4年度 決算額 （千円）	R5年度		人件費 （目安） 金額 （千円）	R5年度 事業 評価	評価の理由	R5年度 局施策 評価	局施策評価の理由及び課題	
							指標名等	現状値 （基準値）	R4年度	R5年度	中期 目標		予算額 （千円）	決算額 （千円）						
V-1- (3)-④ 広域観 光拠点 の整備	42	⑧	門司港レトロ リニューアル 事業	門司 港レ トロ 課	産 業 経 済 局 門 司 港 レ トロ 課	門司港レトロ地 区において、さら なる魅力向上施策 を推進し、観光客 誘致や観光消費額 の増加を促進す る。	有料観光施設の 利用者数	718,783 人 (H29年 度)	目標 710,000 人	実績 549,409 人	710,000 人	71万人 (毎年 度)	712,191	465,864	450,801	38,250	順調	有料観光施設の利用者数実 績が令和4年度比12.5%増と なっており、実績数値も目標 値の87.1%となっているた め、「順調」と判断。	順調	<p>【評価理由】 有料観光施設の利用者数 は、令和4年度と比べ12.5% 増加した。門司港レトロ地区 の企業等においても来客の増 加傾向にあるため、「順調」 と判断。</p> <p>【課題】 コロナ禍後の市域全体のイン バウンド受入件数については 回復率の遅れを指摘されて いる。 今後の本格的なインバウン ドの需要増加に向けて、門司 港レトロ地区の滞在時間及び 観光消費額の増加を目的とし た回遊性の向上や老朽化した 施設の改修等に取り組む必要 がある。</p>
								達成率	77.4 %	87.1 %										